

関係各位

兵庫県病害虫防除所長

令和 6 年度病害虫発生予察防除情報 第 8 号を公表します。

タバコガ類のフェロモントラップでの誘殺数が、9 月中旬以降、平年より多く推移しています。野菜類、花き類圃場<sup>ほ</sup>における発生状況に注意して、適切な防除指導をお願いします。

## 令和 6 年度病害虫発生予察防除情報 第 8 号 タバコガ類の発生状況と防除対策について

- 1 対象作物 野菜類・花き類
- 2 病害虫名 タバコガ類（オオタバコガ、タバコガ）
- 3 発生地域 県内全域
- 4 発生状況と今後の予想について

- (1) 加西市及び南あわじ市に設置しているオオタバコガ用のフェロモントラップにおいて、9 月中旬から平年を上回る誘殺が認められ、10 月以降、急増している（図 1）。9 月 4 半旬から 10 月 3 半旬の合計誘殺数は、加西市で 36.0 頭（過去平均 13.0 頭）、南あわじ市で 46.5 頭（過去平均 12.1 頭）と平年より多い。
- (2) タバコガ用のフェロモントラップ（加西市）でも、9 月 4 半旬から 10 月 3 半旬の合計誘殺数は 23.0 頭（過去平均 4.9 頭）となり、過去 10 年で最も多い（図 2）。
- (3) 淡路地域のレタスやカーネーション、北播磨地域のキャベツ、西播磨地域の切り花等、県内の広域にタバコガ類による加害を認めている。
- (4) 大阪管区気象台の近畿地方の 1 か月予報（10 月 17 日発表）によると、気温は平年より高く推移するとされており、タバコガ類の活動に好適な条件が続くため、幼虫による加害が長期化するおそれがある。

### 5 防除上の留意点

- (1) 加害作物は、レタス、キャベツ等の葉菜類、ピーマン、ナス、トマト等の果菜類、カーネーション、キク等の花き類と広範囲におよぶ。
- (2) 若齢幼虫は成長点付近の新葉や花蕾に潜り込み、食害する（写真 1）。中齢以降は、結球部や肥大した果実にも潜り込んで加害する（写真 2）。そのような幼虫に対しては薬剤がかかりにくく、防除効果が著しく低下するため、早期発見・早期防除に努める。薬剤防除を行う場合は、散布量を適正にして、結球部や花蕾などの重なりが多い部分にもしっかりと薬液を行

き渡らせる。

(3) 防除薬剤については、農作物病害虫・雑草防除指導指針等を参考に選定し、農薬使用基準を守る。



写真1 オオタバコガ幼虫 (左：若齢幼虫、右：老齢幼虫)



写真2 タバコガ類による被害 (左：トマト、右：ピーマン)

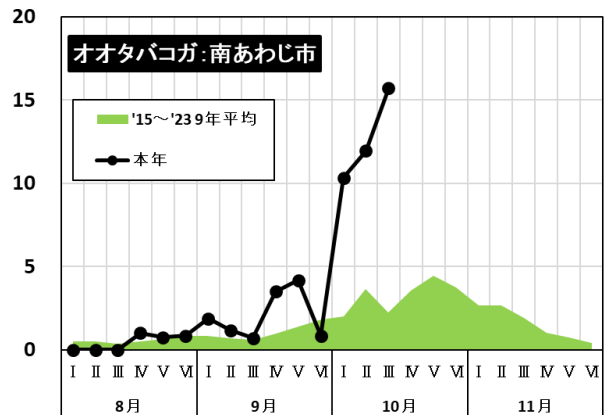
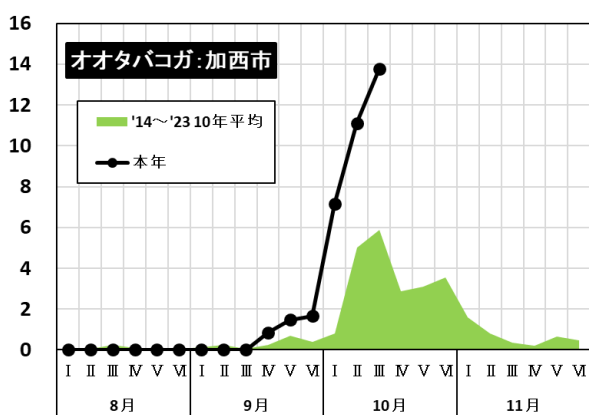


図1 フェロモントラップにおけるオオタバコガ誘殺数の推移

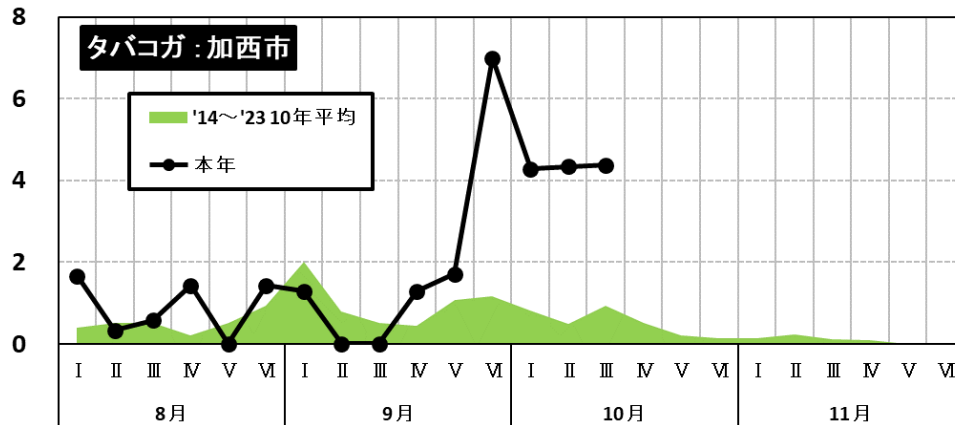


図2 フェロモントラップにおけるタバコガ誘殺数の推移

\*この情報は、兵庫県病害虫防除所ホームページに掲載しています。

<https://bo.jo.hyogo-nourinsuisangc.jp>

\*農作物病害虫・雑草防除指導指針は以下のURLに掲載

<https://www.nouyaku-sys.com/noyaku/user/top/hyogo>

\*兵庫県総合防除計画は以下のURLに掲載

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/nk09/sougoubou.jyo.html>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222

「兵庫県病害虫防除所」X(旧Twitter)にて情報発信中。  
 フォローをお願いします。  
 Xアカウント ([https://twitter.com/hyogo\\_boujoshou](https://twitter.com/hyogo_boujoshou))

